

【南区】平成26年度在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

「事例を通じて学びあおう」

【開催日時】 平成27年1月23日(金) 19:00~20:30

【開催日時】 熊本中央病院 大講堂

【内 容】

グループワーク(事例検討)

「南区花子さんの在宅療養生活を支える**病院の視点・在宅の視点**」

急性期病から在宅療養への移行事例について、実際に支援した

病院スタッフと在宅スタッフから説明していただき、多職種のグループで話し合いました。

GW1: 退院支援・退院調整で大切にしていること

GW2: 事例の良かった点、さらに良くするための工夫、私ならこうする



↑グループワーク

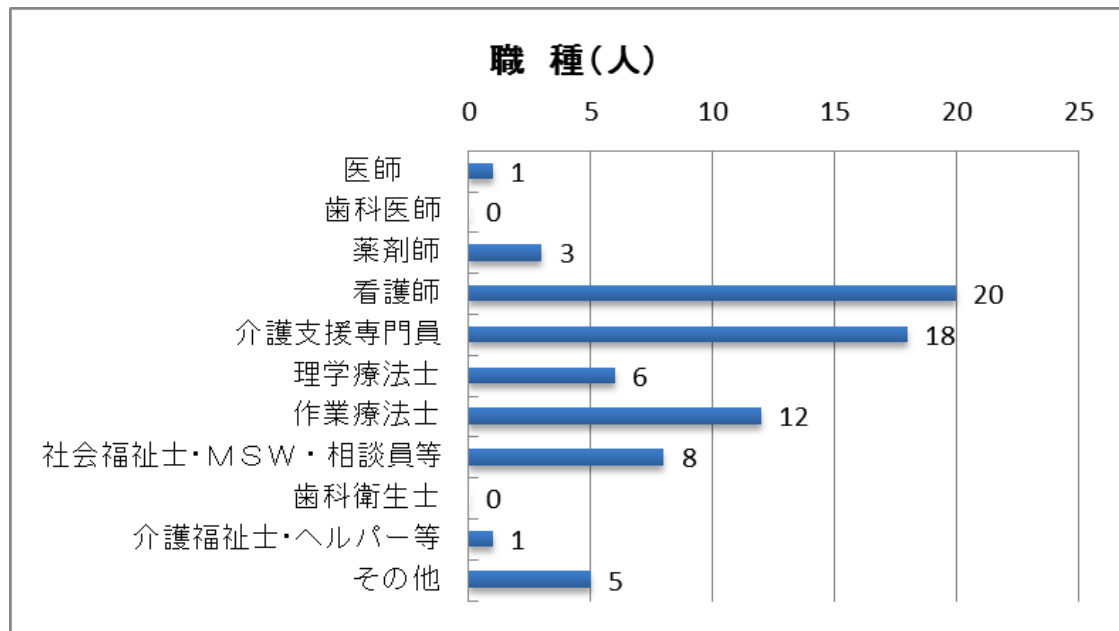
参加者 91名(南区の関係者中心)

・ 医師	5人	・ 薬剤師	4人	・ MSW等	2人
・ 看護師	22人	・ 理学療法士	6人	・ 介護福祉士等	1人
・ (内訳) 病院	8人	・ 作業療法士	13人	・ 区役所	1人
・ 診療所	3人	・ 保健師	1人	・ その他	4人
・ 訪問看護ステーション	7人	・ 介護支援専門員	27人		
・ その他	4人	・ 社会福祉士・相談員等	5人		

研修会後のアンケート

回答数 69 (回答率 75.8%)

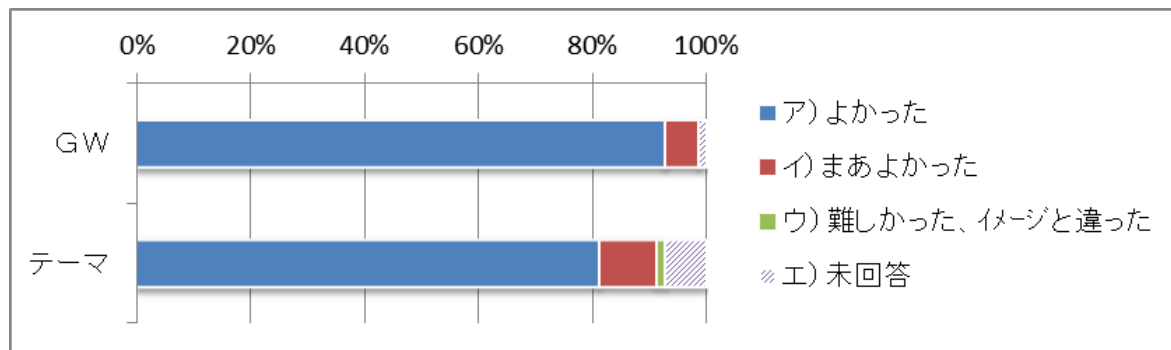
1 回答者



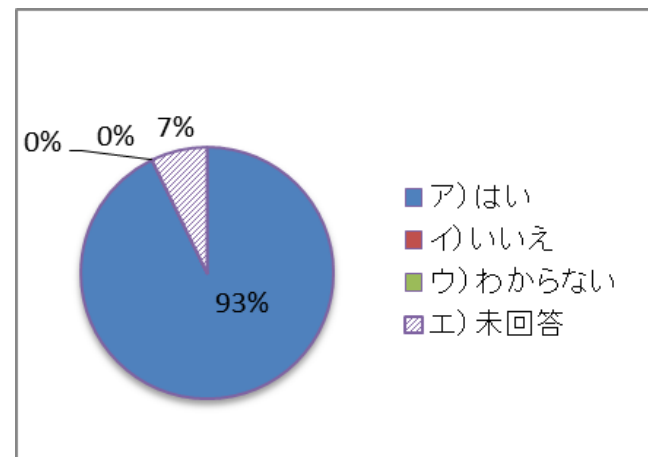
3 今回の研修会で新たに知り合った人数

平均 6.0人

2 プログラムについて



4 今後も参加したいか



4 研修会に関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- 他の職種の方と接する機会がなかったので、いろいろな意見が聞けて勉強になった。在宅に関しての知識があまりなかったのでもっと勉強したいと思った
- 他業種の方と話す機会がほとんどないので、参考になった。持ち帰って生かせる様に考えていきたい
- 有意義な時間で大変為になった。多職種の連携、情報の共有の大切さを再認識した
- とても参考になった。今後も研修会を定期的に開催してほしい。今後、生活圈域ごとの開催と聞いているが、南区全体でも企画してほしい
- 今回参加したことで関わっていない時期の考えや話を聞けて良かった
- 多職種のそれぞれの専門性の視点を学べた
- いろいろな立場の方の話が聞けて参考になった
- それぞれの職種で困っていることを話し合うことができ勉強になった
- エリアの違う職種の方と話ができ良かった
- 様々な事に気付く事ができ勉強になった
- 若い世代について検討したい
- 若い慢性期患者やがん末期患者をどう支えていくか
- 良かった、頑張った内容の情報が多かったが、実際は経済問題や独居など問題も多いので、そのようなケースを検討できたら
- もう少し時間がほしい